



季刊 チャランケ祭報

2018 冬号

(vol.4/2018.2.25)

FREE PAPER

発行：実行委員会事務局

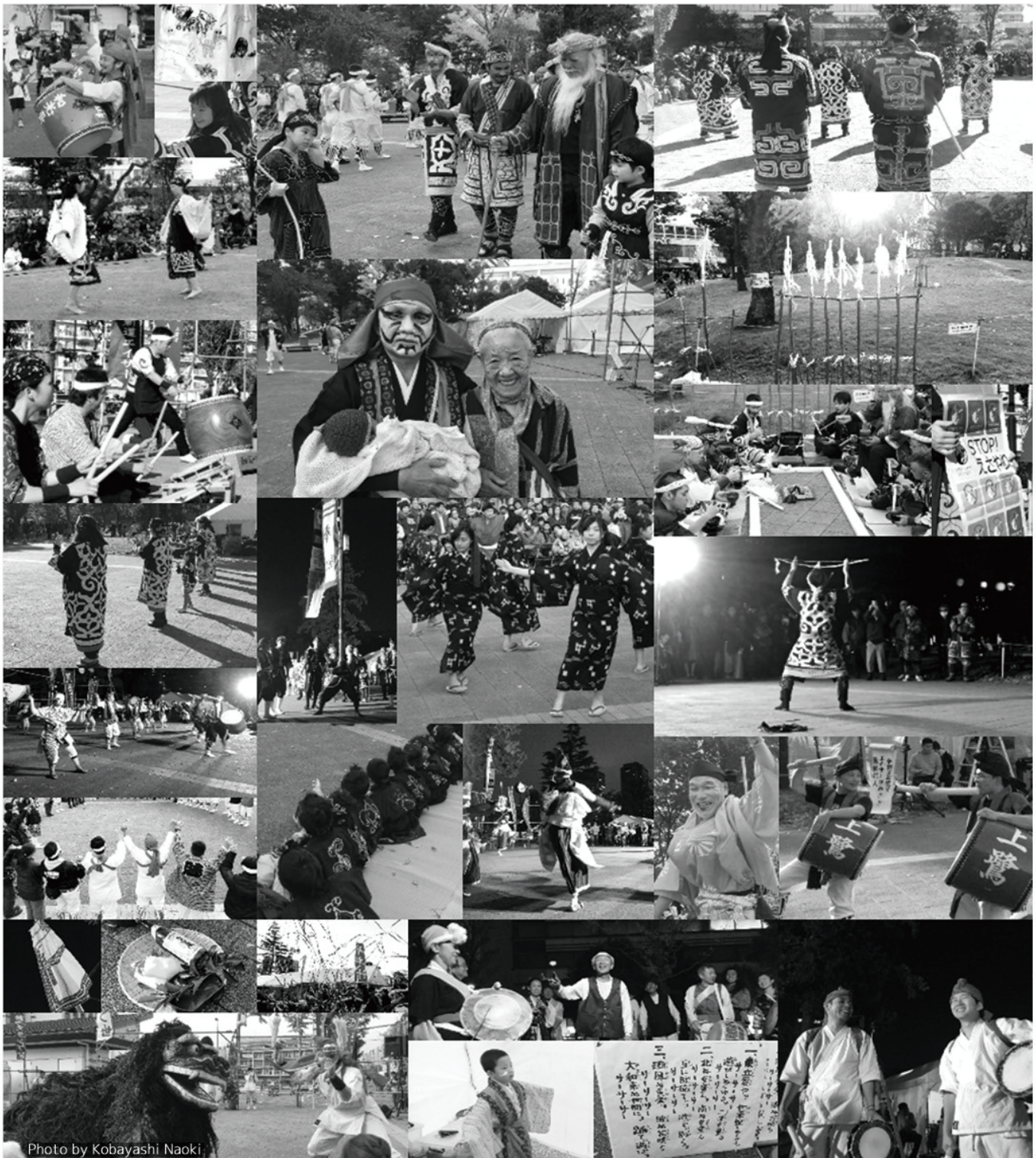
編集：事務局広報班

東京・中野で1994年から続いている、アイヌと沖縄人の出会いから始まった祭り——チャランケ祭の季刊紙です。

[事務局] 〒164-0001中野区中野5-47-5 (南国居酒屋 aman内)

TEL : 080-5414-2564 (実行委員長 上里亮) メール : charankematsuri@yahoo.co.jp

WEBサイト : <http://charanke.jimdo.com> facebookページ : <https://www.facebook.com/Charankematsuri/>



ありがとうございました！

二〇一七年十一月四日・五日

Photo by Kobayashi Naoki

第24回チャランケ祭

2017年11月4日(土) 5日(日) 中野・四季の森公園

[儀式] アイヌの儀式：カムイノミ～奉納の踊り 沖縄の儀式：旗あげ～シタク

[文化交流] アイヌブース 沖縄ブース 芸能・文化ブース

[出演] アイヌリムセ いなほ保育園&けやき学園 上石神井琉球エイサー会 黒川さんさ踊り シーサーズ&三鷹三線テグーの会 誕古団(テゴダン) 東京沖縄県人会青年部エイサー隊 とおるんべの会 中野区上鷲宮エイサーかみさき舞鼓打人 中野新道エイサー 中野七頭舞[チャランケ祭有志] 森の踊り衆 ぶりむん[三線愛好会] ベウレウタリの会 ヤイレンカ 琉球舞団昇龍祭太鼓 和光小学校 和光鶴川小学校

[飲食] チャランケ屋(本部売店) ハルコロ いなほ保育園 父母の会 カムイミントラ 鉄板遊 山横沢 TSUKIMI-COFFEE 炎の沖縄居酒屋 抱瓶

[物販・市民活動PR] あるきんぐクラブ チャシ アンカラ の会 とおるんベショップ ポジショナリティ学習会 むかご工房 やんばる商店 結いのつどい ゆんたく高江 ONELOVE高江

[広告協賛] アイヌ料理ハルコロ アスナロ農園 奄美居酒屋ほこらしや あらばき協働印刷 ヴェトナム料理モツハイパー おきなわ物産センター OkinawaDining HEAVEN'S BAR 沖縄料理あしびなー 沖縄料理海神 オリオンビール株式会社 学校法人和光学園 カフェモモガルテン 株式会社ガードスタッフ 株式会社ザ・サードアイ・コーポレーション 株式会社パディ 株式会社ライトコスモ 鎌倉酒店 共住懇 憲法フォークジャンボリーin東京 小池博史ブリッジプロジェクト2030世界漂流 斎藤純朗 新宿氷業株式会社 大門中村園沼袋店 タイ屋台999 抱瓶グループ 忠孝蔵 調布リトルリーグ 月と波の宴運営委員会 手打ちそば山横沢 魚々楽 とりパニ 中野区上鷲宮エイサーかみさき舞鼓打人 中野チャンプルーフェスタ事務局 南国居酒屋aman 函館アイヌ協会 ビストロクスクス ファームあおしか FOODBAR nanabunnoni 三鷹三線テグーの会 MusicbarBESPA 八重泉酒造 MEXICAN BAR SALSACABANA 山下博史 結いのつどい リラクゼーションサロン☆リンデン ルミア株式会社 ローストチキンバル 若月塗装 ※他、たくさんの方々に賛同協賛金を戴きました。

[旗頭協力] 琉球舞団 昇龍祭太鼓

[資材協力] 和光鶴川小学校 東京土建練馬支部 株式会社アルベック 株式会社ライトコスモ ルミア株式会社 桃園第二小学校おやじの会 ※他、たくさんの方々にご協力をいただきました。

[後援] 中野区

[主催] チャランケ祭実行委員会

第24回 チャランケ祭2017、無事に終了致しました。

今年は天候にも恵まれ、近隣の方や関係される多くの方にお越しいただき、一段と活気のある雰囲気でした。初日の夕方頃や2日目の朝には、強風が吹いたり、雨が降ったりしましたが、多くの方が臨機応変に動いてくださったおかげで、祭の進行にも差し支えがなく、また怪我人も出ませんでした。無事に祭を行うこと、これがまず大切なことなのだと実感いたしました。一緒に祭をつくってくださった皆様に感謝致します。

道じゅねーをすることで、飲食店やブース参加の方々から、演舞を間近で見られて良かったという声をいただき、一体感のある会場づくりを実現できたかなと思っています。

まだまだ至らない点は多々あるとは思いますが、中野で祭を続けていく為に、課題を少しずつクリアしていきながら、新しいことにも挑戦していきたいと思っています。

これからも、かつて広場でやっていたような仲間で作る祭としての素朴さも残しながら、子どもたちの笑顔溢れる、そして祈りの場がきちんとある祭をつくり続けていきたいと思っています。

第24回 チャランケ祭 実行委員長 上里堯



チャランケ祭ミニ辞典：その4

文=宮城整

旗頭 沖縄では、旗頭に村や地域の人々の思いを込めます。その思いを言葉として旗に記し、その旗を旗持ちが勇壮に舞わせることでその誇りを示します。チャランケ祭でも旗頭は祭りに関わるすべての人々のシンボルです。私たちは旗頭に気持ちを向けて踊ります。旗頭は天からカムイを降ろし、天と地と私たちをつなぎ、祭の場を創り出します。

元来、すべての芸能は奉納されるものでした。

チャランケ祭では、その原点に立ち返り旗の文字を「奉納」としています。また、旗とともにひるがえるアイヌ文様のタベストリーは、アイヌの古布絵作家である宇梶静江さんが自ら制作されたものを、チャランケ祭のために寄贈してくださったものです。このタベストリーは多様な文化を持つ、すべての民族の友愛を象徴しています。私たちの宝物です。



事務局より

○スタッフ参加者募集!

祭りをいっしょに育んでくれる仲間を募集しています! 運営に興味のある方はお気軽に事務局までご連絡下さい。

○第24回チャランケ祭の写真をください!

広報物などで使用する祭りの写真を集めています。ぜひ自慢の写真を祭りのアドレスまで送ってください!

あとがき

広報班のチャーちゃんです。街には梅の花が綺麗に咲いていますが、祭報はおそばせながら冬号です!

今回は昨年のお祭のお礼号となっていますが、表の写真をまとめながら2日間の濃厚な空気をあらためて感じました。

今年もチャランケ祭をよろしくお願ひします~!



○次号は4月頃発行予定です。